

PHILIPS

治療器

CPAP装置の使い方 (システムワンシリーズ)

※本書は取扱説明書に代わるものではありません。
必ず添付文書および取扱説明書をご覧ください。

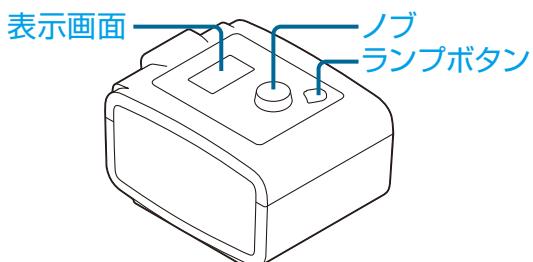
CPAP装置の使い方
動画は[こちら](#)

スマートフォン・タブレット
などの各端末からQR
コードを読み取り動画へ

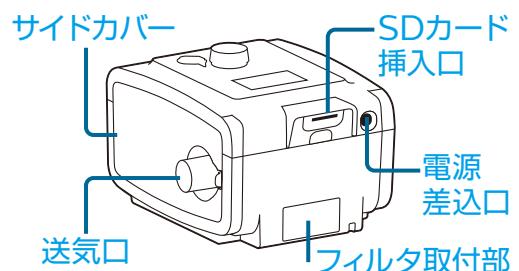


1 CPAP装置 各部の説明

前面パネル



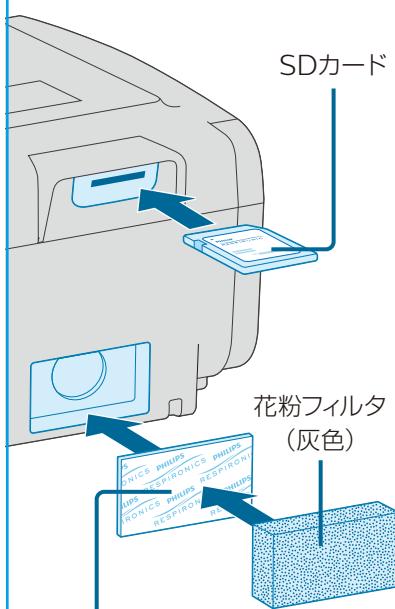
機器背面



2 備品の取り付け

※ご使用の際は、以下の備品がセットされていることを確認してください。

SDカードには、外来診察時
に必要なデータが自動的に
記録されます。



SDカードの挿入

機器使用前に、左図を参考
にSDカードを背面の挿入
口にセットします。

※セットする際はSDカードの
向きにご注意ください。
※SDカードは指定の医療機器
のみにご使用ください。



正常にセットされ
ると表示画面にSD
カードが表示され
ます。

表示画面に**データ転送中**と表示されている
間はSDカードを抜いたり電源コードを外さ
ないでください。

フィルタの取り付け

左図のように付属のフィルタを機器に取り付け
ます。極微細フィルタは「ロゴ印刷面を外側」に
向けてはめ込みます。

※極微細フィルタは使い捨てです。

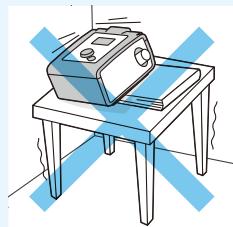
※花粉症の方には、極微細フィルタ（オプション）の使用を
お勧めします。

3 機器本体の準備

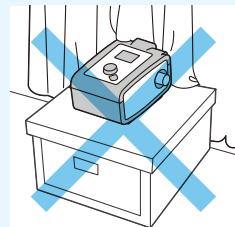
1

機器の設置

機器をしっかりと
した平らな台など
に置きます。



フィルタ部(空気
取込み口)がカーテン布などでふさ
がれていないか
確認してください。

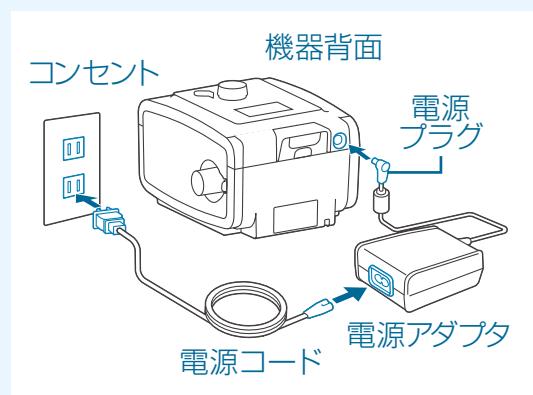


2

機器と電源コード・電源アダプタの接続

電源アダプタのプラグを、機器
背面の電源差込口に差し込み
ます。電源コードと電源アダプタ
を図のように接続し、電源コード
をコンセントに差し込みます。

※ 電源コード及び電源アダプタのコードは、過度
の曲げや、ねじり、束ねなどによって断線し、発熱・
発火におよぶ可能性があります。ご使用前には
必ず破損がないことをご確認ください。



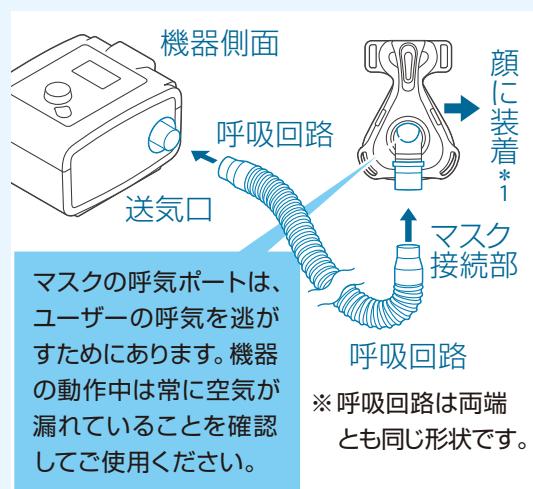
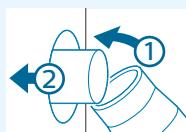
3

機器と呼吸回路の接続

呼吸回路の一方を機器側面の
送気口に接続し、もう一方を
マスクに接続します。マスクを鼻
にあてヘッドギアで固定します。
この時、目の方への空気漏れと
ヘッドギアのしめすぎに注意して
ください。

回路を接続する時は…

- ①接続部を覆うようにあて
- ②奥まで差し込むと楽に
接続することができます。

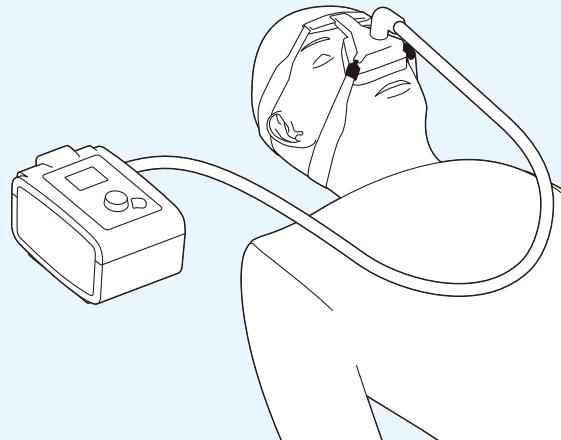


*1 種類により、装着方法の異なるマスクがあります。
詳しくは「マスク及びCPAP付属品の使い方」を
参照してください。

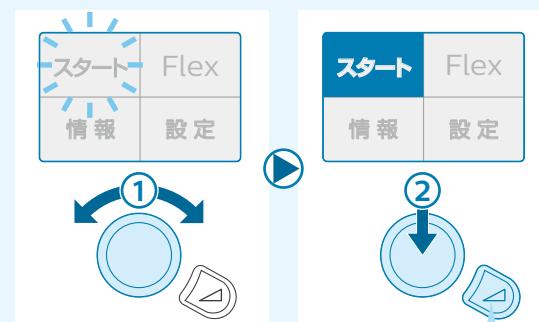
送気の開始

機器上部のノブを回し、表示画面
スタート を選択します。

ノブを押すと送気が始まります。



※空気が送られてきたら口を閉じ、鼻だけ
で呼吸してください。



ランプボタン

使用中に息が吐きづらく感じ
た時に押します。ランプボタン
▲を押すと、送気が最小
ランプ圧まで下がり、徐々に
治療圧へ上昇します。

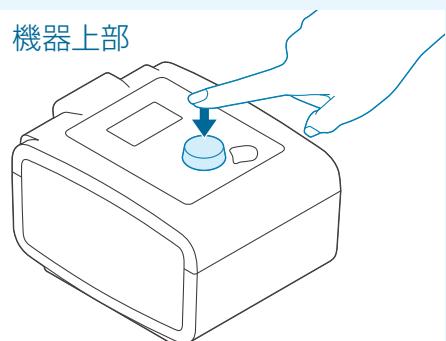
※ ランプ圧は、医師の処方に
て設定されています。

送気の停止

動作中にノブを押すと、
送気が止まります。

※機器を使用しない間（日中など）は、電源
コードはコンセントから抜いておくことを
おすすめします。また、機器・呼吸回路・
マスクなどは直射日光を避け、ホコリの
かかるない場所で保管してください。

機器上部



表示画面のマーク



| | |
|-------------|------------------------------|
| スタート | 送気を開始する時に選択します。 |
| Flex | Flex機能の設定を確認、変更できます。* |
| 情報 | 機器の使用時間などの情報を確認することができます。 |
| 設定 | ノブを操作して項目を選択し、一部の設定を変更します。 |
| | マスクから過度な空気漏れを検出した時に点滅します。 |
| | SDカードが正しく機器に挿入されている時に表示されます。 |

※加温加湿器をご使用の方のみ、この項目をご覧ください。

ヒーテッドチューブ式の加温加湿器HTをご使用の方は、別紙の「ヒーテッドチューブ式加温加湿器HTの使い方」をご覧ください。

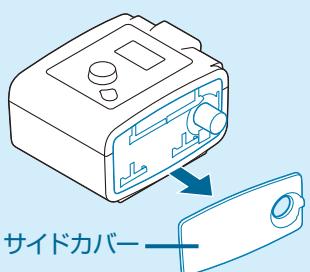
5 加温加湿器の組み立て・使用手順

※加温加湿器をご使用いただくには医師の処方が必要となります。



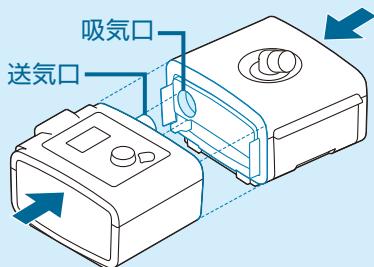
付属の取扱説明書を参照し、付属品がすべてそろっていることを確認してください。

1



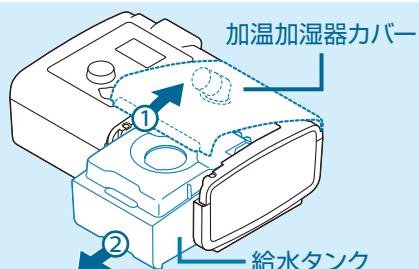
CPAP装置の側面にあるサイドカバーを外します。

2



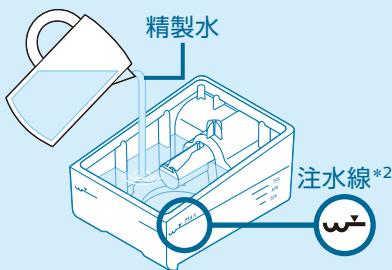
CPAP装置の送気口と加温加湿器の吸気口を重ねて並べ、カチッと音がするまで押し合わせます。

3



加温加湿器のカバーを図の上に上げ、給水タンクを引き出します。
次ページ「給水タンクのフタを開ける際は…」を参照して給水タンクのフタを開けます。

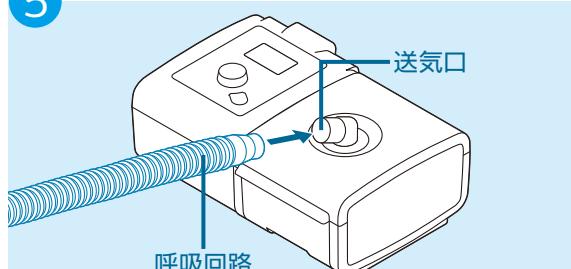
4



精製水（蒸留水）を注水し加温加湿器にセットします。

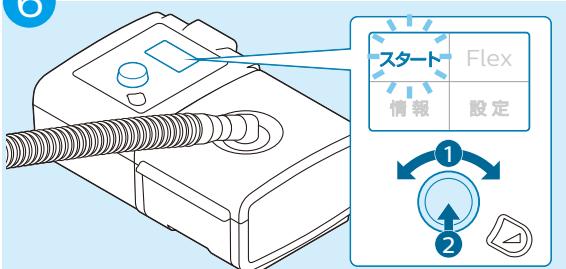
*2 注水する際は、注水線のマーク を超えないようにご注意ください。

5



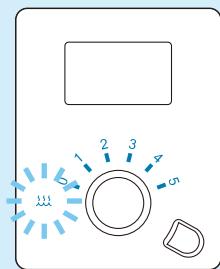
呼吸回路を加温加湿器の上部にある送気口に接続します。

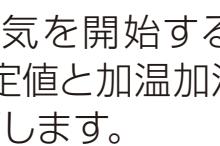
6



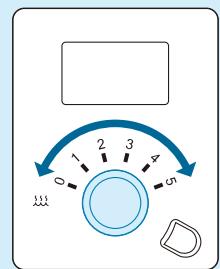
CPAP装置のノブを回し、表示画面の [スタート] を選択し、ノブを押すと送気が始まります。
加温加湿器は機器本体に連動して、自動でON/OFFになります。

7



機器の送気を開始するとノブの周りに設定値と加温加湿器マーク  が点灯します。

8



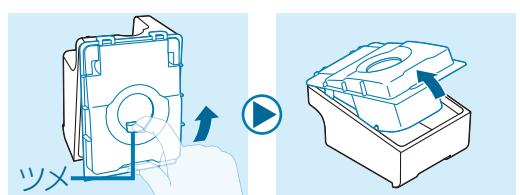
機器のノブを回して医師から処方された処方値に数字をあわせます。

！ ご注意ください

- ・ 加温加湿器の給水タンクには、必ず精製水（蒸留水）を使用してください。
- ・ 使用する前に必ず給水タンクの水量を確認してください。
- ・ 給水タンクは毎日洗浄し、使用してください。

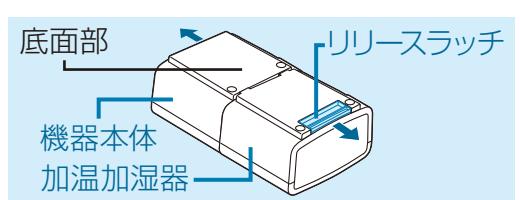
給水タンクのフタを開ける際は…

上フタの穴にあるツメを押さえながら引き上げて、フタを取り外します。



加温加湿器を本体から取り外す際は…

給水タンクを取り外します。加温加湿器の底面にあるリリースラッチを、外側に引きながら取り外します。



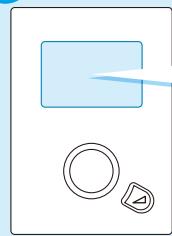
※異なるサイズの呼吸回路を使用する際は、この項目をご覧ください。

ヒーテッドチューブをご使用の場合は、
自動で呼吸回路が設定されるため、変更の必要はございません。

6 呼吸回路設定の変更方法

※異なるサイズの呼吸回路を使用する際は医師の処方が必要となります。

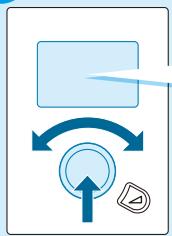
1



| | |
|------|--------|
| スタート | A-Flex |
| 情報 | 設定 |

表示画面に上図のオプションが4つ表示され、ユーザー モード画面が起動していることをご確認ください。

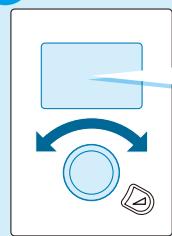
2



| | |
|------|--------|
| スタート | A-Flex |
| 情報 | 設定 |

ノブを回し **設定** を選択した状態でノブを押して決定します。

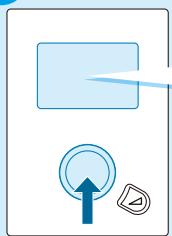
3



| |
|----------|
| 戻る |
| A-Flex 2 |

設定の画面に切り替わります。
ノブを回し「呼吸回路タイプ」を選択します。

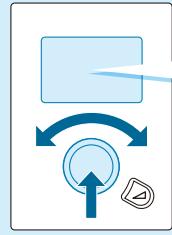
4



| |
|----------|
| A-Flex 2 |
| 呼吸回路 22 |

ノブを押すと設定枠が点滅します。
※数字の横に鍵アイコン  が表示されている場合は設定変更できません。主治医または営業所までお問合せください。

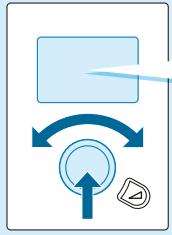
5



| |
|----------|
| A-Flex 2 |
| 呼吸回路 15 |

ノブを回し、使用する呼吸回路の口径サイズ(15もしくは22)を選択します。ノブを押して決定します。

6



| |
|-------------|
| スタート A-Flex |
| 情報 設定 |

ノブを回して **戻る** を選択します。
ノブを押すとユーザー モード画面に戻ります。

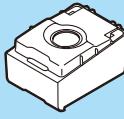
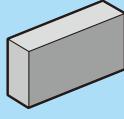
※加温加湿器は機器本体に連動し、自動でON/OFFになります。

・操作中に数十秒間放置すると自動でユーザー モード画面に戻ります。

設定を継続する場合は手順①に戻り再度設定ください。

・機器を使用する際は、呼吸回路タイプと機器の設定に相違がないことをご確認ください。

機器および付属品は、それぞれお手入れの方法やその周期が異なります。安全・快適にお使いいただくために、以下の手入れを行ってください。

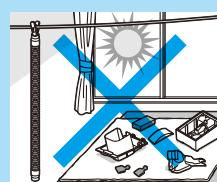
| 頻度 | 種類 | お手入れ方法 |
|-----|---|---|
| 毎日 |  マスク | 各部品を分解し、中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。 よくすすぎ、風通しの良い所で陰干します。 |
| |  呼吸回路 | 中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。 その後よくすすぎ、風通しの良い所で陰干します。 ヒーテッドチューブは別紙を参照してください。 |
| |  給水タンク | 上下パーツに分解し中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。必ずきれいな水ですすいでから、乾いた布などで水気を拭き取り陰干します。 ^{*3} |
| 1週間 |  ヘッドギア | マスクから外して中性洗剤を薄めたぬるま湯でもみ洗いします。洗たく機を使用する際は洗たく用ネットに入れます。 |
| 2週間 |  花粉フィルタ | フィルタは必ず乾いている物をお使いください。 使用後のフィルタは、中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄し、陰干してください。 |
| |  加温加湿器本体 | 湿った布で表面を拭きます。 送気口の内側は、市販のビン用ブラシや布でクリーニングします。 ^{*3} |
| 1ヶ月 |  極微細フィルタ | 一ヶ月で極微細フィルタを交換します。 使い捨てですので新しい物をお使いください。 極微細フィルタはオプションです。 |

*3:CPAP装置の使用後、電源コードを抜き機器と給水タンクの水が常温まで冷めてから行います(15分程度)。

⚠ お手入れの際は次の点にご注意ください



マスクや呼吸回路を
ベンジン、アルコール、
塩素系洗剤などで
洗わないでください。



マスクや呼吸回路は、
日当りの良い場所で
干さないでください。

機器についてのお問合せ

備品の購入や機器のトラブルなど、お問合せは以下にご連絡ください。お問合せの際は、お名前・ご利用の機器名・かかりつけの医療機関・取扱業者名などを必ずお伝えください。

かかりつけ医療機関

機器取扱業者

フィリップス・レスピロニクス合同会社

CPAPお客様コールセンター

よるは よいこきゅう

0120-48-4159

受付時間 9:00~17:30 ※日・祝日・年末年始休業

販売名:レムスターAuto PRIシステム
販売名:レムスター PRIシステム
販売名:BiPAP Auto System Oneシリーズ
販売名:BiPAP Auto System One 60 シリーズ
販売名:REMstar Auto System One 60 シリーズ
販売名:REMstar Pro System One 60 シリーズ

医療機器承認番号:22200BZX00874000
医療機器承認番号:22200BZX00875000
医療機器承認番号:22400BZX00003000
医療機器承認番号:22500BZX00448000
医療機器承認番号:22500BZX00268000
医療機器承認番号:22500BZX00477000

高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器
高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器

製造販売業者
フィリップス・レスピロニクス合同会社
〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町一丁目825番地1
本社 〒108-8507 東京都港区港南二丁目13番37号フィリップスビル
マーケティング部 03-3740-3245
www.philips.co.jp/healthcare



© 2013 Philips Respironics GK

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくは「マーケティング部」までお問合せください。記載されている製品名などの固有名詞は、Philips、Respironics、またはその他の会社の商標または登録商標です。

PN 1113063 150820 R5-W